

平成28年2月10日
第12回 教育懇談会資料
於:愛知県庁

シティズンシップ教育とは何か

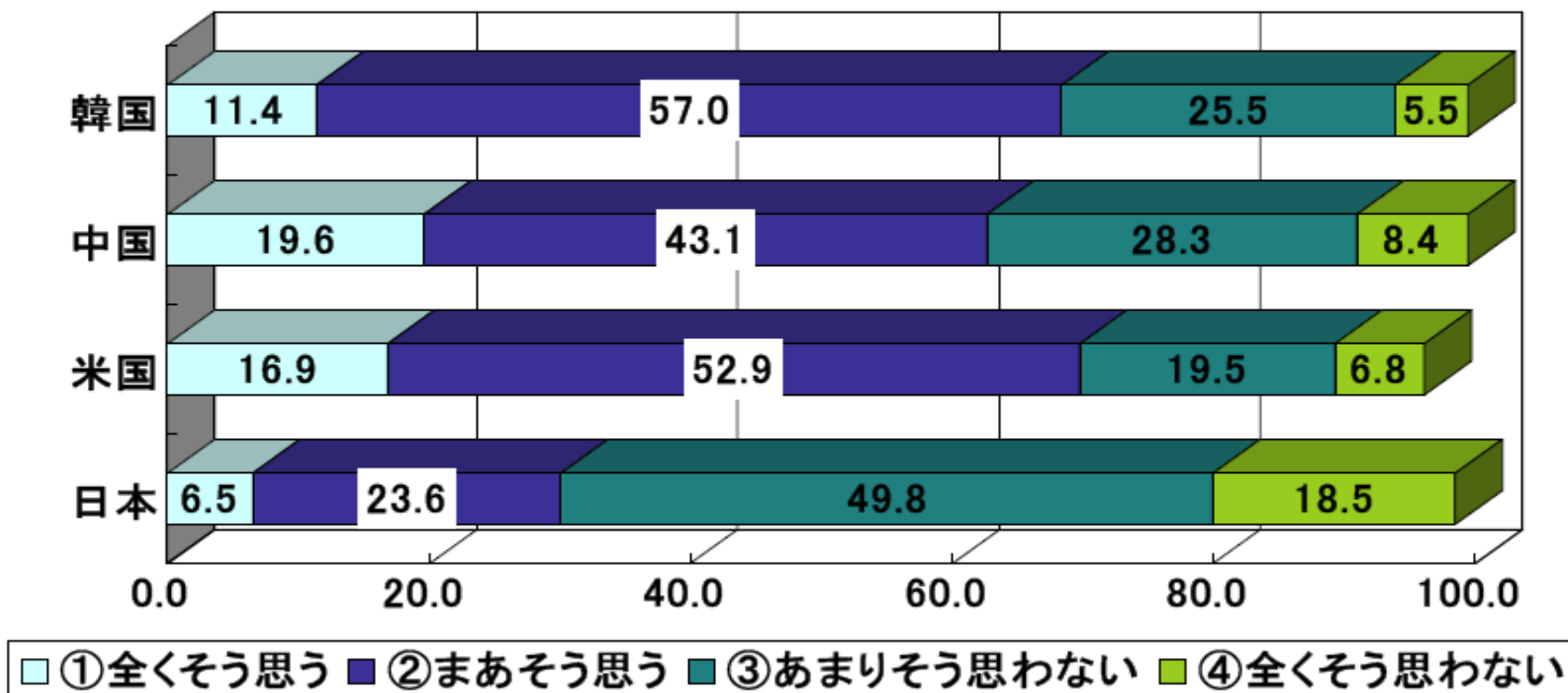
Feb.10, 2016

水山光春(京都教育大学)

mizuyama@kyokyo-u.ac.jp

子どもたちの現実

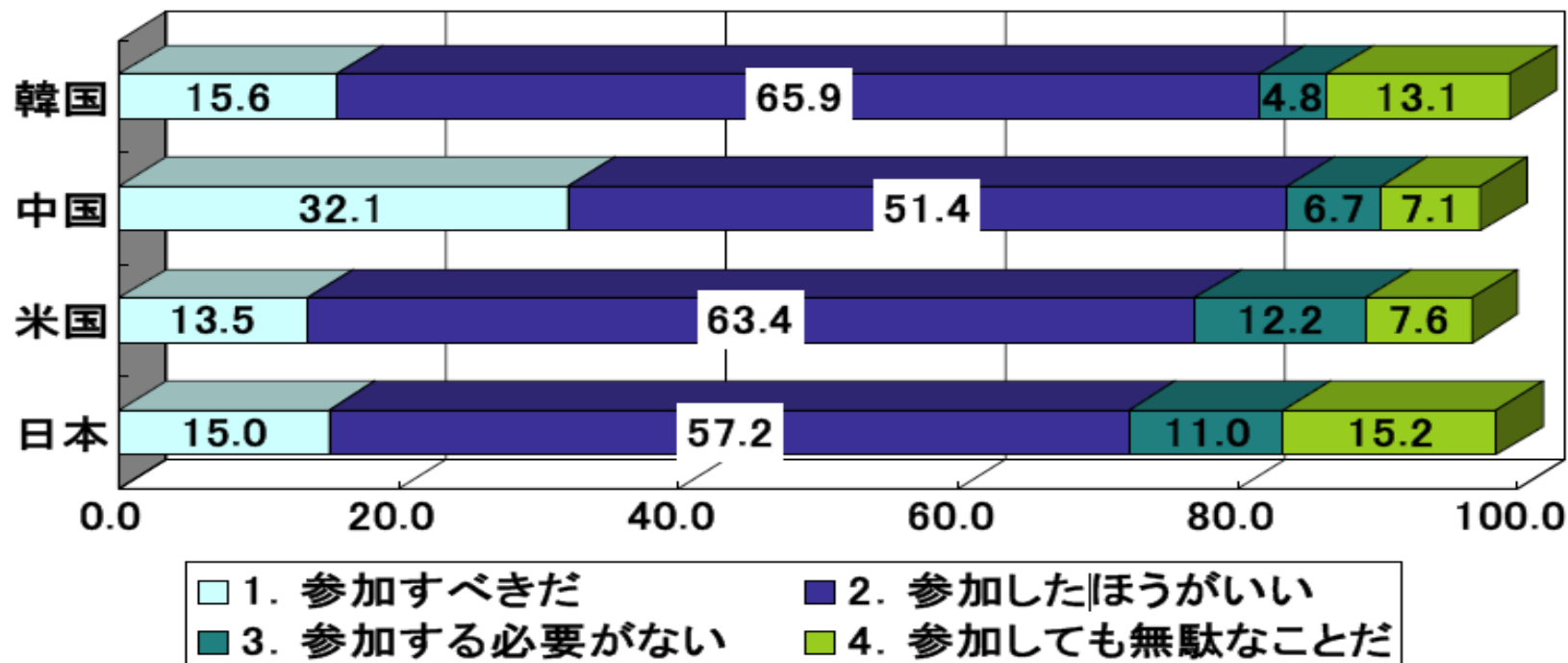
あなたは自分自身をどう思うか(私の参加により、変えてほしい社会現象が少し変えられるかもしれない)



(出典)「中学生・高校生の生活と意識 - 日本・アメリカ・中国・韓国の比較 - (2009年2月)」 36
財団法人 一ツ橋文芸教育振興協会、財団法人 日本青少年研究所

子どもたちの現実(2)

青少年が社会問題や政治問題に参加することについて、
あなたはどのように思いますか



cf. 中央教育審議会初等中等教育分科会高等学校教育部会(第11回)配付資料(2012.8.21)
「高校生を取り巻く現状について」
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/047/siryu/_icsFiles/afieldfile/2012/08/21/1324726_03_1.pdf

シティズンシップ教育とは

(1) クリック・レポート

公立・私立中等学校におけるシティズンシップの目的は、以下の通りである。

- **参加型民主主義**の本質や実行についての知識や技能や価値を確実なものにし、かつ増大させる。
- 子ども達が**アクティブな市民に成長するのに必要な、権利と義務、責任**の感覚への気づきを向上させる。
- 上記のことを通して、個人や学校、社会に対するローカルかつより広い共同体レベルでの**参加の価値**を確立させる。

cf. DFEE/QCA(1998) *Education for citizenship and the teaching of democracy in schools: Final report of the Advisory Group on Citizenship*, p.40.

(2) 英国ナショナルカリキュラム(前文)

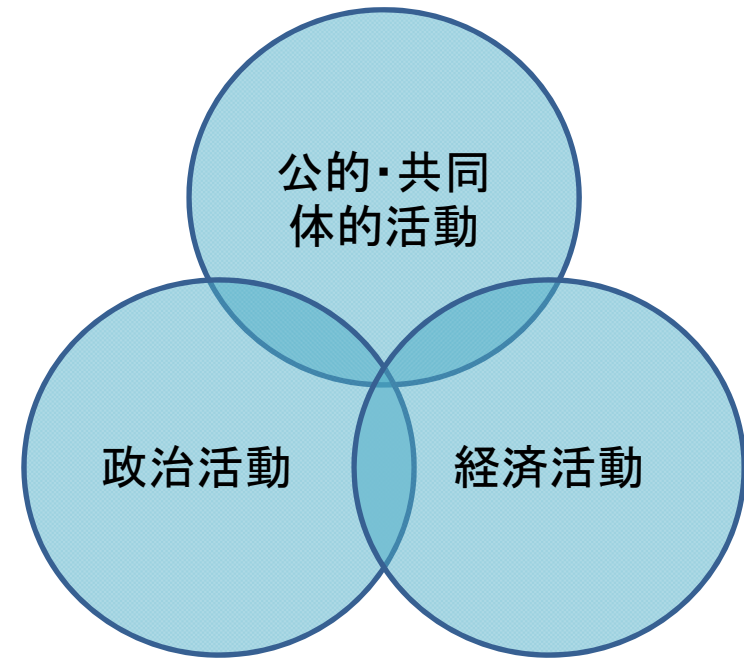
- シティズンシップと**民主主義**についての教育は、すべての子ども達が**現代民主主義における市民としての役割と責任**についての十分な理解を発展させることを手助けする首尾一貫性を提供するだろう。
- シティズンシップは、カリキュラムや学校生活の他の側面とともに、子ども達が、自分の生活や社会において起こっている困難な道徳的社会的問題に対処することを助けるということにおいて、重要な役割を果たすだろう。」

cf. Department for Education and Employment/Qualification of Curriculum Authority (DfEE/QCA), 1999, *The National Curriculum for England*, p.4

(3) 経済産業省シティズンシップ教育研究会

「多様な価値観や文化で構成される社会において、個人が自己を守り、自己実現を図るとともに、よりよい社会の実現に寄与するという目的のために、社会の意思決定や運営の過程において、個人としての権利と義務を行使し、多様な関係者と積極的に(アクティブに)関わろうとする資質」

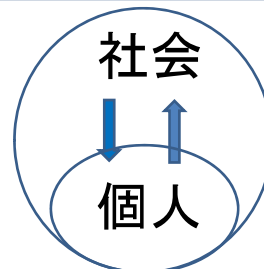
cf. 経済産業省シティズンシップ研究会「シティズンシップ教育宣言」2006



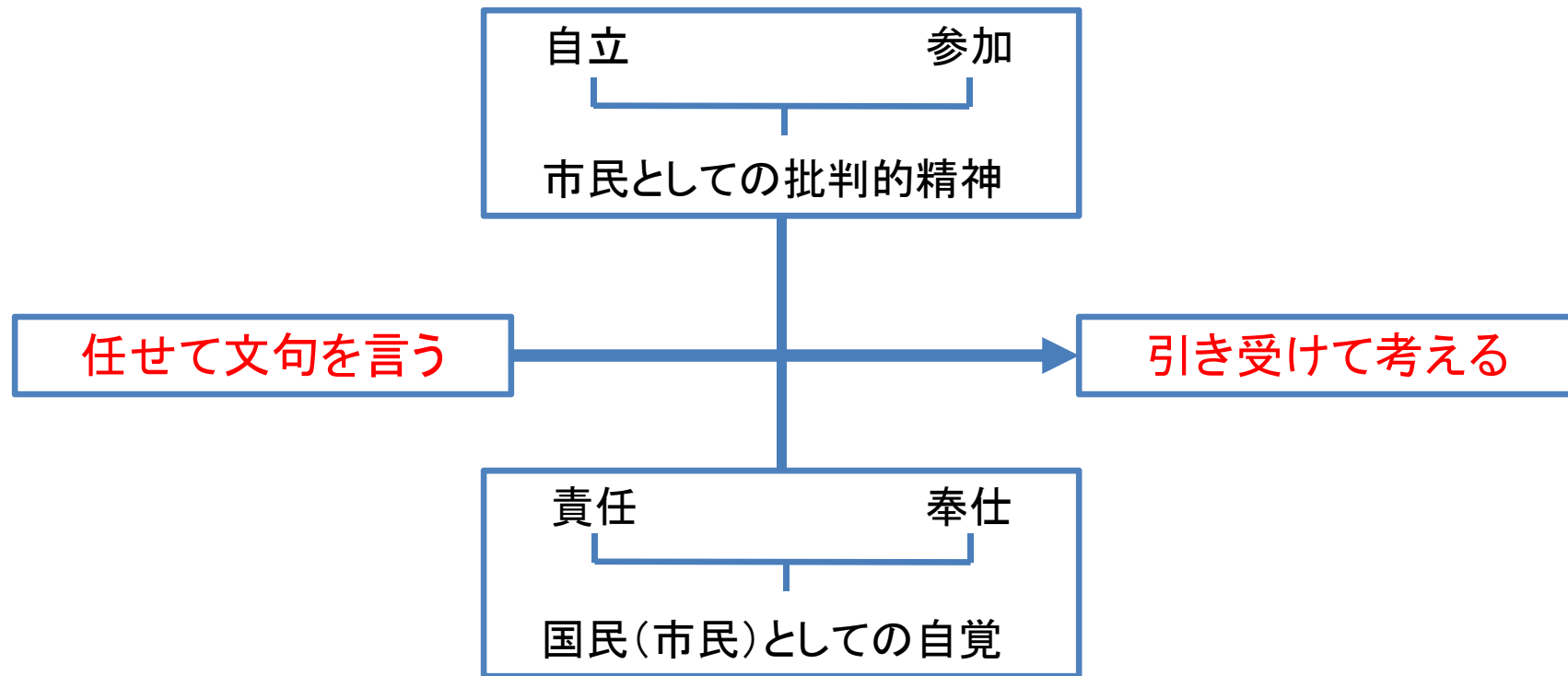
小括

- ・ 個人と社会の関係のあり方/個人の社会との関係の持ち方について学ぶ教育
- ・ 社会の意味や範囲は様々…(地球, 国, 政治/経済共同体, 市民社会, 家族…)
- ・ 社会の性格や特徴も様々…(民主主義, 多様化, グローバル化, ミーイズム…)

与えられるものとしての
権利や義務

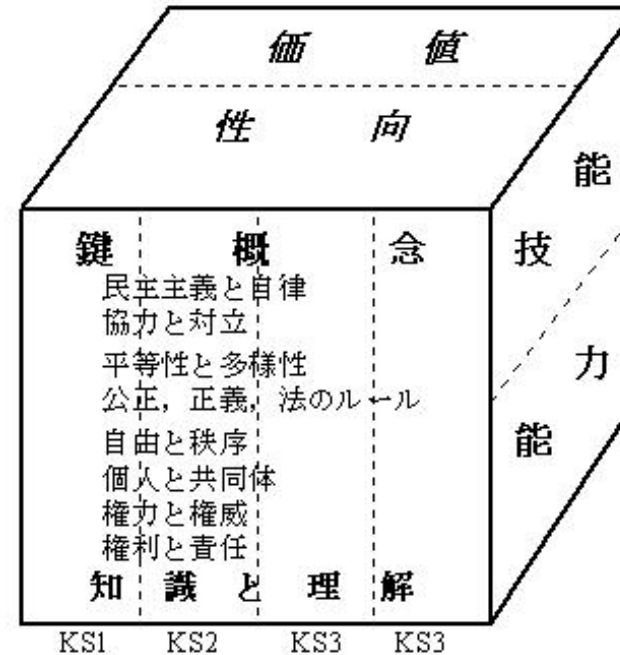
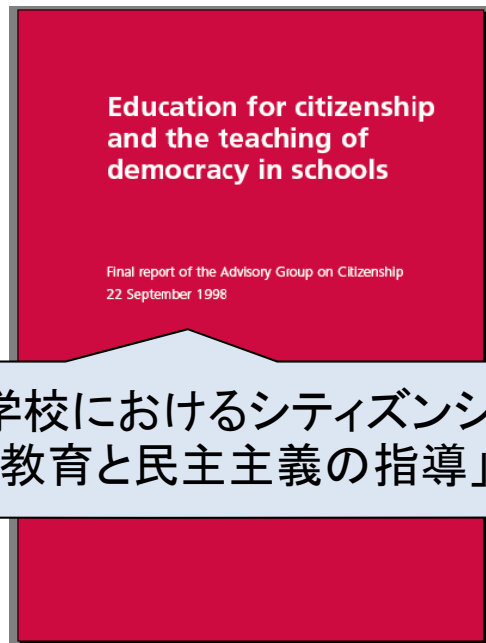


関わっていくものとしての
参加やアイデンティティ



- * シティズンシップ教育は、「任せて文句を言う」(社会/個人)から「引き受けて考える」(社会/個人)への変革を目指す。
- * しかし、やっかいなことに、「国民(市民)としての自覚」と「引き受けて考える」(社会/個人)との結びつきが強調される一方で、「(市民としての)批判的精神」と「任せて文句を言う」(社会/態度)は結びつきやすい。

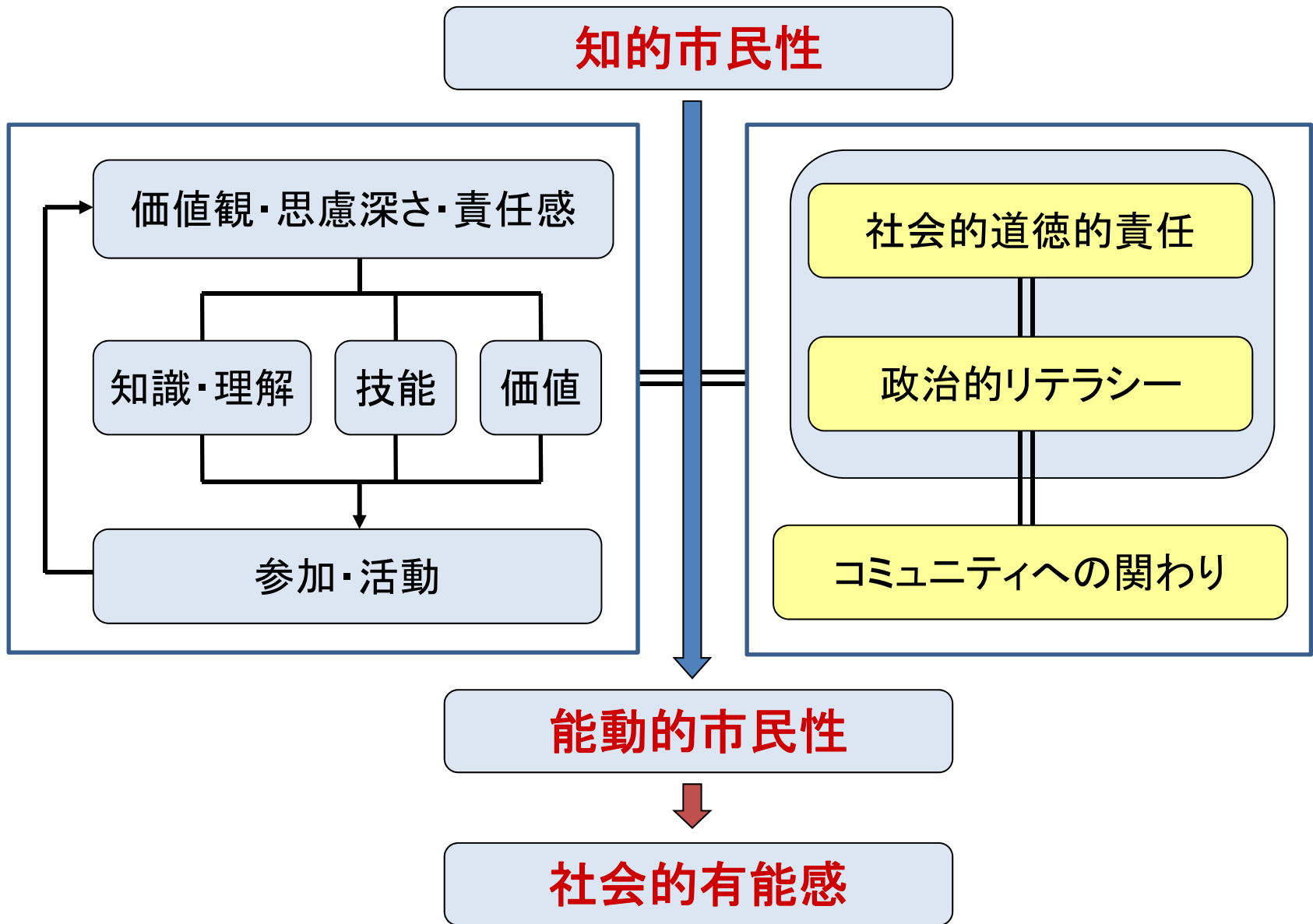
シティズンシップ教育の要素と柱



社会的道徳的責任	自己への信頼と社会的道徳的に責任ある行動についての学び
コミュニティへの関わり	地域社会への参加と奉仕を含む, 地域社会での生活とそれらへの有益な関わり
政治的リテラシー	社会に参加する市民に求められるスキルや判断力・批判力など

cf. DfES/QCA(1998), *Education for Citizenship and the Teaching of Democracy in Schools*, QCA

シティズンシップ教育の構造

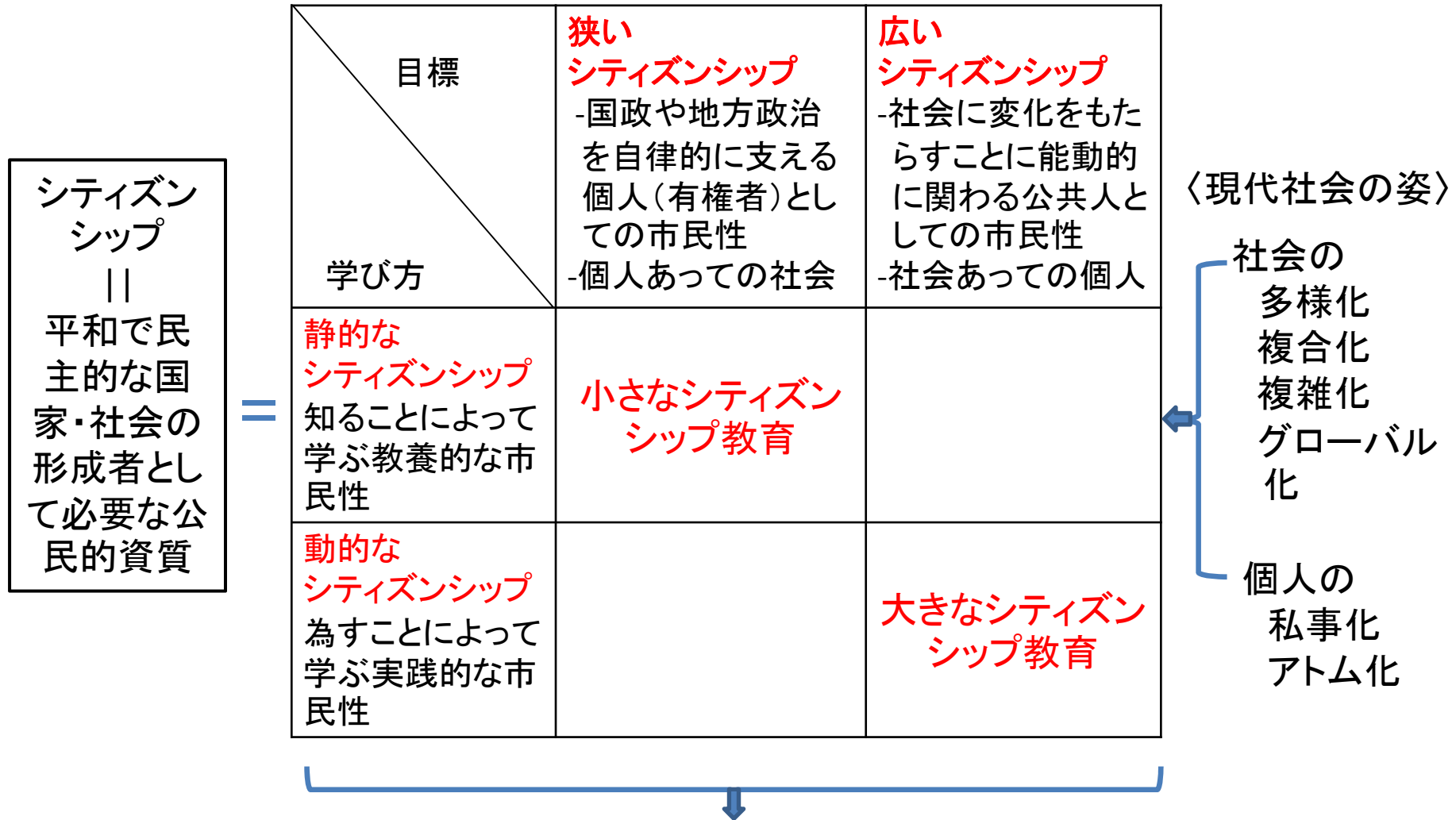


シティズンシップ教育の整理

学習の形態		学習の場所		
		フォーマル	ノンフォーマル	
		学校	「学・社」連携	家庭・地域・NPO
定型的	知識習得型	教科学習		フリースクール
	シュミレーション型		政治・経済・シミュレーション	
非定型的	体験型		職場体験	社会教育
	プロジェクト型			ワークショップ
実践 ・ 参加		生徒会・部活動・学校行事	児童生徒による 青少年施設の 運営	地域行事・町づくり・こども議会

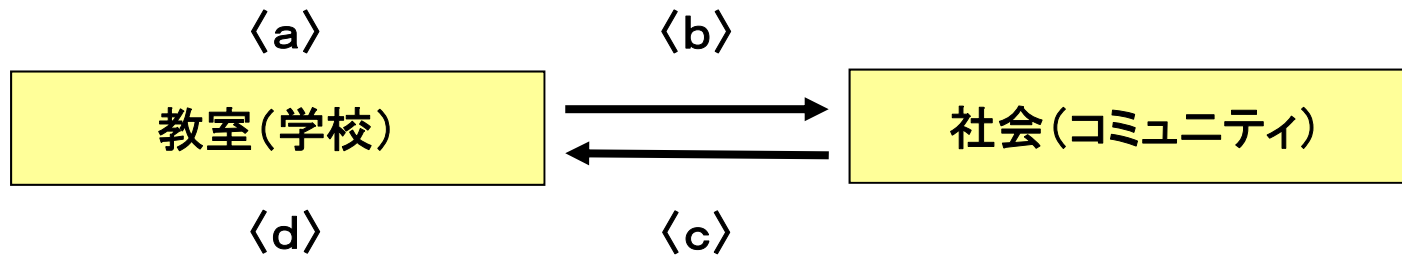
cf. 経済産業省シティズンシップ研究会「シティズンシップ教育宣言」2006

シティズンシップ教育の整理(2)



何を学ぶのか, どのように学ぶのか, 何ができるようになるのか?

教室と社会との関係から見たシティズンシップ教育の類型



静的シティズンシップ

〈a〉 社会は認識の対象にとどめて関わらない(「教室で社会を」) = (社会)認識型

動的シティズンシップ

〈b〉 教室を出て社会へ積極的に働きかける (「教室から社会へ」) = (社会)参加型

〈c〉 教室に社会を呼んでくる (「教室に社会を」) = シミュレーション型

〈d〉 教室そのものを社会と捉える (「教室を社会に」) = 討論・熟議型

cf. 水山光春(2007)「社会科公民教育における英国シティズンシップ教育の批判的摂取に関する研究」平成16-18年度科学研究費補助金研究成果報告書, pp.100-102.

日本におけるシティズンシップ教育の展開

(1) お茶の水女子大学附属小学校の場合（「教室を社会に」）型

- **教科「市民」**（2002～2013）。「市民」には小学校3年生から6年生まで年間105時間（105/980～105/1015）、約10%の時間を配置
- ねらい＝「提案や意思決定の学びを通して」「益々加速する社会や環境の変化に対して、**積極的に、適切な社会的価値判断や意思決定をしていく力**」としての市民的資質の育成

教科市民の学習プロセス

- ① 価値判断や意思決定すべき課題があり、それを問題として捉える。
- ② 自分の予測的な考えをもち、第一次的な社会的な判断をする。
- ③ 自分(たち)の予測的な価値判断を裏付ける情報を収集する
- ④ 収集した情報を説得力のあるものに加工する。
- ⑤ 自分(たち)の考えを発信し、修正を加えたり、反論を得たりして、二次的な判断をする。
- ⑥ 最終的な自分の考えをまとめ、三次的な判断とする。



(2) 埼玉県桶川市立加納中学校の場合（「教室に社会を」型）



中心市街地活性化のためのローカルマニフェスト(工程表)の提案



(3) 東京都品川区の場合(総合型)

- 市民としての公共精神や基本的な人権などの理解と、社会に対して主体的に参加できる基礎的な態度や資質・能力を育成することを意図した教育
- 道徳, 特別活動, 総合的な学習の時間を統合した新たな教科
- 道徳, 特別活動, 総合をミックスした市民科, 「社会」とは別に行う



品川区が市民科を構想する背景

- 児童・生徒には「我々の世界」を生きる力(世間, 世の中でしっかりと生きていく力)と「我的世界」を生きる力(自分の人生を自分の責任でしっかりと生きていく力)の両方をバランス良く身に付けさせる必要がある.
- ミーイズムとも呼ばれる自己中心的な「我」ではなく, 社会との関係において「我」を捉えさせるとともに, 自分の信念, 自分の価値観をもって, 常に人生の意味付けを考えながら生きる人間を育てていきたい.
- このような考え方から, 本区では「市民」を広く**社会の形成者という意味でとらえ, 社会の構成員としての役割を遂行できる資質・能力とともに, 確固たる自分を持ち, 自らを社会的に有為な存在として意識しながら生きていける「市民性」を育てる学習として小中一貫教育の中で「市民科」を設置することにした.**

cf. 品川区教育委員会(2005)「品川区小中一貫教育要領」講談社, p.21

育てる資質		個と内面: 主体性、積極性 個と集団: 適応性、公德性、論理性 個と社会: 実行性、創造性		
対 象	鎖 域	能 力		
個に関わること	自己管理	自己管理	生活適応	責任遂行
個と集団・社会をつなぐこと	人間関係形成	集団適応	自他理解	コミュニケーション
	自治的活動	自治的活動	道徳実践	社会的判断・行動
社会に関わること	文化創造	文化活動	企画/表現	自己修養
	将来設計	社会的役割遂行	社会認識	将来志向

シティズンシップ教育と学校教育の領域

